


展示 PICK UP

■3F ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ~12/14(金)

「丸と三角」

日比谷図書文化館のシンボルマークは「△」の左端に小さい「○」をつけたデザインを使用しています。三角は当館の建築物を、丸は1階にあるショップ&カフェの部分を表しています。それにちなみ丸と三角に関する本を自然、造形物、象徴などいくつかのテーマに分けて集めました。また当館の様々な場所にある丸と三角スポットを写真で紹介していますので是非ご覧ください。

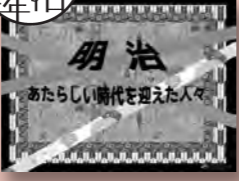


「象徴としての丸」「象徴としての三角」(左) 当館の丸と三角スポットを写真で紹介しています。(右)

■2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ~2019/1/18(金)

「明治 あたらしい時代を迎えた人々」

2018年は明治の始まりから150年目の年。明治という新しい時代は文化の大きな転換期でした。そこに生きた人々にはどのような変化の波が押し寄せたのでしょうか。衣食住、建築、教育、芸術などに関する本を手に取り、この150年間の時代の流れとその変容をお楽しみください。



気軽に手に取って読みいただけるものから読み応えのあるものまでさまざま。(左) いろいろな角度から「明治」をお楽しみください。(右)

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

SDGs × 読み書き

夜がすっかり長くなり、読書やスキルアップのための勉強もはかどりますね。私たちの毎日に欠かせない文字の「読み書き」ですが、世界では貧困、差別、紛争などにより成人の7億人を超える人々が「読み書き」ができないといわれています。そのことで多くの不利益を被ったり、ときには命の危険にさらされることもあります。生まれた国や性別に関係なく、すべての人が質の高い教育を受けられるよう、取り組んでいかなくてはならない問題です。

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals,SDGs)」は2015年9月、国連サミットで採択された世界を変えるための17の目標です。その中の1つに「4 質の高い教育をみんなに」があります。

RECOMMEND 『マララ・ユスフザイ 国連演説&インタビュー集』

CNN English Express 編 朝日出版社 2014年

「1冊の本と1本のペンで世界は変わる」当時16歳の少女のスピーチに世界中の多くの人々が心を打たれました。

日比谷カレッジ報告 9月29日(土)

「アジアの人々と図書館～翻訳絵本作りワークショップ～」

講師：鈴木晶子 (公社)シャンティ国際ボランティア会広報課課長

アジアの国々の現状と課題、図書館が果たしている役割について学んだ後、翻訳絵本作りワークショップを行いました。完成した絵本は、ミャンマー(ビルマ)の人々へ届けられます。

1ページずつ、心を込めて丁寧に作業しました。

From Chiyoda Public Library 〔千代田区立図書館からのお知らせ〕

●千代田図書館企画展示(予告)●


観てから読むと、もっとドキドキ 読んでから観ると、さらにワクワク

千代田で楽しむ ミュージアム&シアター

— 秋・冬 COLLECTION —

この秋冬に、千代田エリアの博物館、美術館、劇場など約20施設で開催される展示や公演などの主要なコンテンツとともに、各施設のさまざまな特色をパネルで紹介し、また、展示物や作家、コンテンツに関連した書籍も手に取っていただけるよう豊富に展示します。

- 10月29日(月)~2019年1月26日(土)
- 休館日:11月25日(日)、12月23日(日・祝)、2019年1月1日(火・祝)~3日(木)
- 千代田図書館9階 展示ウォール



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

東江 東京へから

「日比谷図書文化館 特別展」

今年度は明治維新から150年 新から150年 後にあたります。とりわけ千代田区には、幕末から明治維新にかけての歴史の舞台が数多くあります。今回の展示では、黒船来航以来の幕末動乱から鹿鳴館時代といわれた明治10年代までの時代をとりあげ、社会の変化や千代田区をはじめとする江戸から東京へと移り変わる街並みなどを紹介します。特に、江戸城無血開城に皇女和宮や天璋院篤姫が果たした役割、明治維新後の社会の仕組みや経済文化の発展に旧幕臣が大きく関わったことなど、今まであまり知られていなかった明治維新も紹介しています。



●会期: **開催中~12月2日(日)**

※休館日 11月19日(月) ※一部、展示替えがあります。

●観覧時間: 平日 10:00~20:00、土曜 10:00~19:00、日祝 10:00~17:00(入室は閉室の30分前まで)

●会場: 千代田区立日比谷図書文化館 1階特別展示室

●観覧料: 一般300円、大学・高校生200円(千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料) ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。

●主催: 千代田区立日比谷図書文化館 / 文化財事務室

●協力: 徳川記念財団、日本カメラ博物館 ●監修: 後藤宏樹

展示構成

※展示構成は一部変更する場合があります。

I 「ゆるる江戸幕府」
幕末の成熟・拡大した江戸の姿とともに、ペリー来航や安政の大地震、相次ぐ火災など幕末動乱のなか日本の西欧との出会いを紹介します。

II 「江戸城から皇居へ」
幕末の政変から江戸城無血開城まで、特に天璋院篤姫と皇女和宮(静寛院宮)が明治維新に果たした役割を紹介します。

III 「明治政府による東京再編」
幕末の荒廃した江戸城と明治天皇の旧江戸城入城、さらには東京の街並みの変貌を錦絵や写真によって紐解きます。

IV 「新たな時代の幕開け」
欧化政策から大日本帝国憲法発布までの文明開化期の変化と明治10年代後半以降に広がる江戸の懐古を取り上げます。

文明開化「明治太平記」(左) 黒船「垂米利加維記」(右)

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2018年 11月							2018年 12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					



access

〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分

※当該施設に駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用下さい。


11・12月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。


11/8 (木) 江戸歴史講座 第56回
怖いだけではすまない 幽霊画の世界
 講師：安村 敏信(北斎館館長)
 幽霊画といえば怖い絵と思うのが当然であろう。そもそも幽霊自体、この世に怨念があるため成仏できず、生前の姿で恨みをはらすためにこの世に出てくるのだから、その姿は怖い。ところが、幽霊画として描かれると怖いだけではすまなくなる。美しい姿やコミカルな姿など意外性のある多様な表現を見よう。
 ■日時：11月8日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名
 ■参加費：1000円(千代田区民500円) 作者不詳《牡丹灯笼》制作年不詳 金性寺藏



11/14 (水) スポーツが作ったアメリカ — 実験国家の社会形成と文化創造
 講師：鈴木 透(慶應義塾大学法学部教授)
 スポーツは、社会をどのように変え得るでしょうか？ルールに自国の価値観を刻み込んだ競技を生み出し、スポーツを人為的集団統合の舞台にしてきたアメリカの事例から考えます。ラグビーW杯やオリンピック・パラリンピックの自国開催が近づくと、日本のスポーツ文化の未来を考えるヒントを探ります。
 ■日時：11月14日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円




11/15 (木) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー シリーズ「私の修業時代」
修業時代の出会いが決めた私の人生
 講師：富山 健(千葉工業大学未来ロボット技術研究センター国際連携主管)
 小学生の時に理科に目覚めさせていただいた先生、中学高校を通して「種の保存と個の保存」を教えていただいた国語の先生、大学では「制御」の面白さを教えていただきアメリカ留学のきっかけを作っていただいた先生。良い人たちとの出会いがいかに貴重か、それを生かすことがどんなに人生を豊かにするか、お話したいと思います。(主催：公益財団法人 上廣倫理財団、共催：日比谷図書文化館)
 ■日時：11月15日(木)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民・学生無料)
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。




〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

11/25 (日) 世界の音楽 2018
アイヌの伝統楽器トンコリの音色
 講師：千葉 伸彦(民族音楽研究者)
 日本の歴史の深層の鍵を握るアイヌ民族、その文化には「音楽」という言葉も概念もありません。でも暮らするにはメロディーが溢れていました。竹製口琴や5弦の琴の小さな音に耳を澄ませば、そこに宇宙があります。鳥や動物や自然こそは人間に語りかける神々の声、不思議なアイヌの音楽の世界を覗いてみましょう。
 ■日時：11月25日(日)14:00～15:30(13:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：60名 ■参加費：1000円



11/28 (水) 第13回 ジャパンナレッジ講演会
ことばって面白い。辞書って楽しい。～辞書編集者を悩ませる、日本語⑥
 講師：神永 暁(国語辞典編集者)
 辞書編集者の日本語講座第6弾。国語辞典を引くとき、意味をチェックするだけで、どうしても飛ばしがちな「用例」が今回のテーマ。最近話題になっている言葉を辞書の骨格となる「用例」を見ながら、神永氏が解説します。辞書を読む楽しみがわかる90分です。(主催：株式会社ネットアドバンス)
 ■日時：11月28日(水)19:00～20:30(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



11/30 (金) 建築と都市の歴史から見る江戸から東京への変遷
 講師：藤岡 洋保(東京工業大学名誉教授)
 近代の東京はどのような歴史を乗り越え発展したのでしょうか。この講座では、江戸・東京の都市計画と、そこに建てられた建物の歴史をふまえて、近代の東京の変容や特徴、現代にも通じる問題点についてお話します。あわせて近代の有名建築の見どころもご紹介します。(企画・協力 NPO法人建築から社会に貢献する会)
 ■日時：11月30日(金)19:00～20:45(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円




12/6 (木) 心理学から読み解く防災行動
 講師：島崎敢(国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員)
 多くの人は「避難したほうがいい」という情報を得ても「今でも大丈夫だったから今度も大丈夫に違いない」と行動を起こしません。それは時に自分の身を危険にさらしてしまいます。自分の命を守る第一歩として、まずはなぜ自分は「大丈夫」と思い込んでしまうのか、心の仕組みを知ることからはじめてみませんか？
 ■日時：12月6日(木)19:00～20:45(18:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：500円




12/9 (日) 古書で細解く近現代史セミナー 第32回
番町とともに歩んだ塙保己一 ～『群書類従』を編纂した大國学者の足跡～
 講師：齊藤 幸一(公益社団法人温故学会代表理事)
 荒井 一夫(総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事業部委員)
 根岸 久(脚本家)
 塙保己一は1793(寛政5)年、「和学講談所」を設立しました。「和学講談所」は表六番町(現在の千代田区三番町)にあり、1868(慶応4)年に廃止されるまで国典の教授、出版事業が行われました。本講座では、この「和学講談所」を中心に、塙保己一の生涯と国学者としての事績を紹介します。
 ■日時：12月9日(日)14:00～15:30(13:30開場)
 ■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



12/13 (木) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2018
第5弾「ワークショップ【初級編】」 『システム思考で新たな価値を生む糸口を見つける』
 講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師)
 広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)
 物事や世界をシステムとして捉えて問題解決やアイデア創出をするプロセスを学ぶ講座です。「ワークショップ」の【初級編】では、システム思考の基礎的な知識と、物事をシステムとして捉え、新たな価値を生む糸口を見つけるための基礎的なワークの流れを学びます。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)
 ■日時：12月13日(木)19:00～21:00(18:30開場)
 ■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員：40名 ■参加費：2000円
 ※2018年9月10日、10月11日に開催したワークショップ【初級編】第1弾、第3弾と同じ内容になります。



● 特別研究室企画展示 ●
内田嘉吉が所有した『群書類従』 — 日本における書誌学のはじまり —
 日本における書誌学のはじまりともいえる『群書類従』を展示し、塙保己一の大事業を紹介するとともに、内田嘉吉が注文した、1915(大正4)年から摺りたてが行われた『群書類従』にまつわるエピソードも紹介しています。また、特別研究室外側壁面では公益社団法人温故学会所有の「塙保己一と群書類従」関連パネルを展示しています。



12月28日(金)まで開催中

こんにちは。
受付・コンシェルジュです!
 From CONCIERGE

私たち「受付・コンシェルジュ」は入口のカウンターで、ご来館いただいた皆さまへ様々なサポートを行っています。館内案内では、各フロアの案内はもちろんのこと、常設展・特別展のみどころや当館の特徴・歴史など、初めてご来館いただいた方にも分かりやすくご案内します。また館内のみならず、日比谷公園内でのイベント、近隣施設や交通経路などの情報は資料や地図を用意しています。その他、貸室のお問合せやご予約・当日の受付などを行っていますので、貸室をご利用のお客様はまず始めにお立ち寄りください。1階ロビーでは館内や千代田区内の魅力について展示をしています。イベントや季節ごとのタイムリーな情報をお届けしていますので是非ご覧ください。ご来館中に困ったことや知りたいことなどがありましたら、どうぞお気軽に「受付・コンシェルジュ」へお声掛けください。

● ● ●


■ 1階ロビー展示情報 ※展示は予定です。内容が変更になる場合もあります。

～12月2日(日) 特別展関連展示「明治維新150年 資料からみる明治の風景②～明治建築編」

～11月下旬頃 千代田区の紅葉の見どころを紹介。マップを配布。

ポモージュ広報室より

日比谷図書文化館は、2018年11月4日に開館7周年を迎えます。広報誌「ポモージュ」も7年目です。2011年11月に発行されたポモージュ第1号は、A4サイズを三つ折にしたサイズでした。表紙には大きく「知の拠点。」と書かれ、今と同じように中面には日比谷カレッジ情報、裏面には図書フロアの展示や特別展の情報を掲載していました。今ではA4サイズと大きくなり、より多くの情報をお届けすることが出来るようになりました。(現在の形になったのは2012年10月号から)7年という月日は、人間に例えるならまだ小学1年生。これからも皆さまの“想像力”や“好奇心”を刺激して引き出すことが出来る場所、「知の拠点」を目指して、より魅力的な施設となるように努力して成長していきます。



▲ポモージュ 第1号